



新たな気持ちで

園長 吉羽 優子

新年、明けましておめでとうございます。9日間の年末年始をゆっくりお過ごしになられたことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

突然ですが、私がうれしく感じた「2024年柳町こどもの森 3大ニュース」をお知らせします。

①2階テラスやベランダで育てた野菜や花を収穫できるようになったこと

今年度は土づくりから子どもたちと一緒にいき、生長を楽しみにしながら育ててきました。ナスやサツマイモを収穫できたときの驚きや喜びの笑顔が印象的でした！

②子どもたち同士の親密さが深まったこと

今年度の園内研究会のテーマである異年齢交流を意識しながら保育を進めてきました。年少児がばんだ組の子どもたちをお店屋さんごっこに招待したり、年長児が遊園地ごっこやクリスマスごっこでひよこ組やうさぎ組の子どもたちだけでなく職員室の大人まで誘ってくれたりしました。相手に合わせた言動が自然に表れている姿や、相手の喜びを自分事のように感じる姿がとてもすてきでした！

③子ども一人一人が大切にされている実感があること

「こどもまんなか社会」と言われているように、一人一人の子どもが大切にされ、その子らしさを発揮することで園生活が充実しています。なんといってもご家庭での温かい親子関係が基盤になっています。私たち保育者もその子らしさを受け止め、尊重していく源になっています！

2024年を振り返り、いよいよ2025年は乙巳（きのとみ）です。陰陽五行説では木の陰のエネルギーを表し、植物が生長し広がっていくことから、柔軟性や協調性を象徴しています。子どもたちの発想の柔軟性と友達と共に協同する協調性を指しているようですね。

3学期は、49日と短い学期ですが、子ども劇場や遠足、お別れ会、修了式など成長の節目を感じる行事が続きます。行事は日常の子どもたちの遊びや生活の集大成として経験するものです。劇ひとつとっても、普段の子どもたちの遊びや生活のエッセンスが必ずちりばめられています。学級や学年で取り組む中で、その子らしさや力が十分発揮できるよう、指導に努めてまいります。なるべくお休みすることのないよう体調管理にご協力をお願いいたします。